

## 事後評価書

令和7年10月

全体事業費 (A+B+C)	749 百万円	A	749 百万円	Ab	A1-1の 提案事業	79 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費と提案事業 費の合計額の割合 (C+Ab) / (A+B+C)	10.5%
------------------	---------	---	---------	----	---------------	--------	---	-------	---	-------	---	-------	--	-------

## 事後評価

## ○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・交付対象事業の事業所管課が、各々の要素事業等について事後評価を行い、計画全体の評価を行ったうえで市民に公表する。公表期間は2週間とし、意見があった場合は市から回答する。	・令和7年10月
	公表の方法
	・建築管理課窓口及びホームページでの公表

## 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

## A 基幹事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
								R2	R3	R4	R5	R6			
A-15-1	住宅	一般	千葉市	間接	個人	地域住宅政策推進事業	民間賃貸住宅入居支援					1	—		
A-15-2	住宅	一般	千葉市	直接	市	地域住宅政策推進事業	住情報提供					42	—		
A-15-3	住宅	一般	千葉市	間接	個人	地域住宅政策推進事業	分譲マンション再生等合意形成支援					8	—		
A-15-4	住宅	一般	千葉市	直接	市	地域住宅政策推進事業	住生活基本計画推進事業					3	—		
A-15-5	住宅	一般	千葉市	間接	個人	地域住宅政策推進事業	分譲マンション適正管理支援					4	—		
A-15-6	住宅	一般	千葉市	間接	個人	地域住宅政策推進事業	高齢年住宅団地の活性化(R5子育て世帯住 替え支援)					21	—		
A-15-7	住宅	一般	千葉市	直接	市	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	居住性向上型(750戸)、 福祉対応型・居住性向上型(1,101戸) 脱炭素社会対応型(2団地)					592	策定済		
A-15-8	住宅	一般	千葉市	直接	市	住宅地区改良事業等(改良住宅ストック総合改善事業)	福祉対応型・居住性向上型(7戸)					4	策定済		
A-16-1	住宅	一般	千葉市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	建築基準法指定道路図及び指定道路調査整 備、狭あい道路の拡幅整備					74	—		
								合計					749		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										R2	R3	R4	R5	R6		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										R2	R3	R4	R5	R6			

[illegible][illegible]

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		① 住戸改善について、272戸実施し、住戸のバリアフリー化を図ることができた。 ②建築基準法の道路についての確な情報提供を行い、適切な建築行為の実施を誘導することがスムーズとなった。 ③狭あい道路における交通安全や、災害時の避難の妨げ、消火活動や救急活動の遅れ等を、道路を拡幅することで解消した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（バリアフリー化された市営住宅の実施率）	最終目標値	67%	目標値と実績値に差が出た要因	限られた財源の中で事業の優先順位を精査し工事を実施したため、進捗の遅れが生じた。
		最終実績値	57.0%		
	指標②（建築基準法道路図及び指定道路調書の整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	指定道路の調書の整備が目標よりも進まなかったため。
		最終実績値	99%		
	指標③（狭あい道路の総延長に対する拡幅整備延長の割合）	最終目標値	5.04% 17,400m	目標値と実績値に差が出た要因	進捗が予定より進んだため予算内で整備を行った。
		最終実績値	5.07% 17,500m		
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・A-15-1～5 マンションの適正管理支援や再生支援、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援、空家等も含めた住まいに関する情報提供を実施することで、居住支援体制を整備することができた。 ・A-15-6 高経年住宅団地への住替え支援を実施することで、居住者の高齢化を抑制している。 ・A-15-2（空家等情報提供） 市内の空家等及び空室の情報とそれらの利活用希望の情報を収集・集約し、提供することにより、空家等及び空室の利活用を促進した。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
①引き続き、長寿命化計画に基づき、玄関・浴室・トイレに手摺を設置し住戸のバリアフリー化を図っていく。 ②指定道路調書の整備を継続して実施していく。 ③狭あい道路の拡幅整備を継続して実施していく。					